


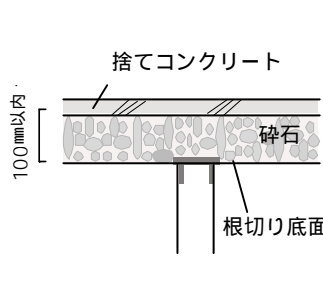
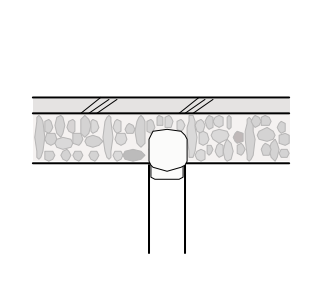
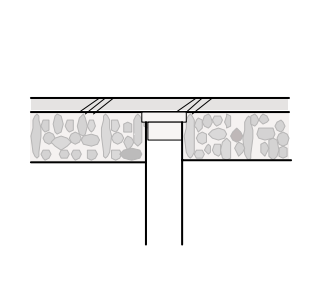


「パイプと基礎本体と一体化せず、パイプは根切り底から捨てコンクリート下端までの間とする」と表記している。

しかし、碎石厚さや施工精度などが異なり、パイプの頭部が根切り面（碎石下端）にある場合でも建物荷重を伝達することが実験で確認された。

ここで、パイプ天端位置及び3種類のキャップについて施工上の注意点を以下に述べる。

種類	鉄製の平キャップ	プラスチック製の丸キャップ	プラスチック製の平キャップ
形状			
パイプ天端位置	捨てコンクリート下端 0～100mmの碎石下端	捨てコンクリート下端 -50～-100mmの碎石内	捨てコンクリート下端
キャップ位置			
設置位置の注意事項	碎石について、締め固めを十分行うこと。 特に、捨てコンクリートを使用せず、ビニールシートを採用する基礎仕様については、注意すること。	キャップ天端位置が碎石内のため、締め固めを行う際に破損する場合がありますので注意すること。	パイプ打設時にキャップを装着し、パイプ位置が突出しているため、根伐時にパイプが変形しやすいのであまり使用されていない。